

■ 2012年1月13日(金)

京都大学環境安全保健機構 シンポジウム

「京から始まる省エネ・省CO₂の新たな展開～京都大学環境賦課金制度の検証と今後～」及びワークショップ「省エネ・省CO₂対策の実証報告」を開催

東日本大震災が発生した2011年が幕を閉じ、年が明けて早々の2012年1月13日(金)京都大学時計台記念館百周年記念ホールをメイン会場として、環境安全保健機構シンポジウム「京から始まる省エネ・省CO₂の新たな展開～京都大学環境賦課金制度の検証と今後～」及びワークショップ「省エネ・省CO₂対策の実証報告」が開催されました。

このシンポジウム・ワークショップは先進的な取組として注目されている京都大学の環境賦課金制度を活用した様々なESCO事業等の省エネ成果の検証を行いつつ、京都府・京都市条例の改正に伴うさらなる抑制基準の強化等はどう対処していくべきかについて、専門家をお招きし、活発な議論をすることを目的に企画されたもので、文部科学省、地方自治体関係者、全国の国立大学法人等、京都市内私立大学の教職員・学生及び省エネ・省CO₂対策事業に取り組む設計事務所・工事施工業者、メーカーの担当者など395名の参加のもと、盛大に執り行われました。



大鷲環境安全保健機構長の講演



会場(百周年記念ホール)の様子

ワークショップ「省エネ・省CO₂対策の実証報告」

まず午前に行われたワークショップでは、京都大学の学生が主体的に実施している環境配慮に関する取組事例報告として、エコモニター隊による活動を農学部 上西良廣氏より、エコ宣言Webサイトについての報告を工学部 奥本隼也氏より行っていただきました。

その後2008年度から実施されている環境賦課金制度を活用した様々な事業について、各事業者から報告をしていただき、あわせて今年度策定を行った吉田キャンパス省エネルギーマスタープランの報告を(株)日建設計総合研究所 高橋直樹氏より行っていただきました。

ESCO事業の実施を検討している大学等からこのワークショップが、大変参考になったと言っていたり、またESCO事業者である企業側からも、省エネ対策に関する提案をするうえで参考になったと言っていたりなど、多くの先進的な取組をしている京都大学として、一定の役割を果たせたのではないかと思います。



農学部 上西氏の講演



工学部 奥本氏の講演



ESCO事業者の講演



(株)日建設計総合研究所 高橋氏の講演

シンポジウム「京から始まる省エネ・省CO₂の新たな展開～京都大学環境賦課金制度の検証と今後～」

午後に行われたシンポジウムでは、松本紘総長の開会挨拶の後、環境安全保健機構 大鷲幸一郎機構長から「環境賦課金制度による省エネ・省CO₂対策の検証と今後の展開」、環境安全保健機構 環境科学センター教授 酒井伸一先生から「環境報告書2011について」、環境・エネルギー専門小委員会委員長 エネルギー科学研究科教授 塩路昌宏先生から「大学キャンパスの省エネ・省CO₂その特質と課題」、文部科学省大臣官房文教施設企画部 岡誠一 前技術参事官から「今後の国立大学法人が取り組むべき省エネ・省CO₂等の対策」についての講演が行われました。



松本総長の開会挨拶



酒井教授の講演



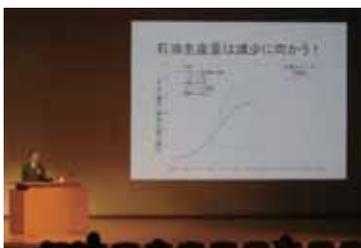
塩路教授の講演



岡 前技術参事官の講演

休憩の後、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
内藤正明 センター長(京都大学名誉教授・大学院地球環境学堂・学舎 初代学舎長及び学舎長)から「地球環境の未来と京都大学の役割」、大学院地球環境学堂教授 植田和弘先生から「地球温暖化対策と環境賦課金制度」についての講演が行われました。その後、同志社大学環境保全実験実習センター事務長 西山幸男氏、立命館大学施設担当部長 志方弘樹氏の実務総括担当者に加わっていただき、各大学での取組紹介の後、パネルディスカッションが行われ、活発な議論が繰り広げられました。

このシンポジウムについては、アンケートより京都大学の取組、方向性を知る事ができた、今後大学等で取り組む上での参考となった等、大変高い評価をいただき、また今後もこのようなシンポジウムを開催していただきたい等の要望もいただきましたので、次回に向けて検討していきたいと考えています。



内藤センター長の講演



植田教授の講演



同志社大学 西山氏の講演



立命館大学 志方氏の講演



パネルディスカッションの様子

パネル展示

今回時計台記念館2階 国際交流ホールにて省エネ・省CO₂対策事業の先進事例報告等に関するパネル展示も併設し、シンポジウム閉会後はこの会場にて意見交換会が開催され、講師等を交え打ち解けた雰囲気の中、活発な意見交換と情報交換が行われました。LED照明等の省エネ対策の機器紹介等、参加者の方々からは大変参考になったという声をたくさんいただきました。



京都大学環境安全保健機構 シンポジウム

京から始まる省エネ・省CO₂の新たな展開

京都大学環境評価制度の検証と今後

13:00 ~ 13:15	報告書 京都大学環境安全保健機構 大塚 幸一
13:15 ~ 13:30	報告書 環境評価制度による省エネ・省CO ₂ 対策の検証と今後の展開 京都大学環境安全保健機構 大塚 幸一
13:30 ~ 13:55	報告書 省エネ2011について 京都大学環境安全保健機構 環境安全センター 大塚 幸一
13:55 ~ 14:15	報告書 大学キャンパスの省エネ・省CO ₂ その他の特長と課題 京都大学環境安全保健機構 環境安全センター 大塚 幸一
14:15 ~ 14:45	報告書 今後の国立大学法人が取り組むべき省エネ・省CO ₂ 対策の対策 京都大学環境安全保健機構 環境安全センター 大塚 幸一
14:45 ~ 15:00	休憩
15:00 ~ 15:40	報告書 地球環境の未来と京都大学の役割 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター長 京都大学名誉教授 内藤正明 京都大学大学院地球環境学堂学舎 初代学舎長及び学舎長
15:40 ~ 16:20	報告書 地球温暖化対策と環境賦課金制度 京都大学大学院地球環境学堂学舎 教授 植田和弘
16:20 ~ 17:20	報告書 パネルディスカッション 大学における省エネ・省CO ₂ 対策の現状と課題 京都大学環境安全保健機構 環境安全センター 大塚 幸一 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター事務長 同志社大学環境保全実験実習センター事務長 立命館大学施設担当部長
17:40	報告書 報告書 京都大学環境安全保健機構 大塚 幸一

京都大学環境安全保健機構 ワークショップ

省エネ・省CO₂対策の実証報告

8:30 ~ 8:55	報告書 報告書 京都大学環境安全保健機構 大塚 幸一
9:00 ~ 9:55	報告書 京都大学の省エネ・省CO ₂ 対策に関する取組について (エコモニター・エコWeb履修等) 京都大学環境安全保健機構 環境安全センター 大塚 幸一
9:55 ~ 11:05	報告書 京都大学における省エネ500事業 京都大学環境安全保健機構 環境安全センター 大塚 幸一 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター長 京都大学名誉教授 内藤正明 京都大学大学院地球環境学堂学舎 初代学舎長及び学舎長 京都大学環境安全保健機構 環境安全センター 大塚 幸一 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター事務長 同志社大学環境保全実験実習センター事務長 立命館大学施設担当部長
11:05 ~ 12:00	報告書 京都大学における省エネ・省CO ₂ 対策の現状について 京都大学環境安全保健機構 環境安全センター 大塚 幸一 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター事務長 同志社大学環境保全実験実習センター事務長 立命館大学施設担当部長

11月11日(土) 国際交流ホールにて各社パネル展示